

審査意見への対応を記載した書類（7月）

（目次） 医療科学研究科 柔道整復学健康ケア専攻（M）

1. 専攻の名称に「柔道整復学」の専攻分野を掲げているが、教育課程上、「基礎医療分野」、「柔道整復学健康ケア分野」の科目区分のいずれにおいても必修科目の設定がなく、柔道整復学に関連しない科目のみを履修することで修了できる教育課程であると見受けられる。また、養成する人材像やディプロマ・ポリシーにおいても、必ずしも柔道整復学の領域に限られない記載内容となっていることから、専攻の名称にふさわしい卒業要件、履修方法及び学位名称に改めるか、専攻及び学位の名称を修正すること。（是正事項）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. 学生の受入れに関して、本専攻の教育課程を適切に履修できる能力をどのように測定するかについて疑義があることから、アドミッション・ポリシー及び入学者の選抜方法について、教育課程の内容も踏まえつつ適切に改めること。（是正事項）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
3. 定員充足の根拠として、進学に関するアンケート調査の結果における一定程度の進学の意向があることが示されているが、当該アンケートについては、柔道整復師養成課程の在学生及び現職の柔道整復師のみが調査対象とされており、本専攻が入学を受け入れることとして想定している対象の一部にとどまり、設置の趣旨及び必要性における説明と整合していないことから、どのような学生を受入れる見通しであるかについてあらためて明確に説明すること。（是正事項）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
4. 「現職の医療専門職者、その他関連職種者を含めた社会人に門戸を開放する教育機関を目指している」との記載がなされているが、授業の開始時間の設定が社会人を対象とするものとして適切であるか疑義があることから、社会人学生への支援体制や配慮の方策について具体的に示すこと。また、教員負担への配慮に関し、既設の学部教育及び管理運営業務等を含めた全体の負担量が不明であるため、専任教員ごとの負担量が分かる資料を示すこと。（是正事項）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

5. 研究倫理審査体制について、学内者のみで構成されており、中立性の確保の観点から、適切に改めることが望まれる。(改善事項) 7

6. 教員の年齢構成が比較的高齢に偏っていることから、教育研究の継続性を踏まえ、今後の採用計画など教員組織編制の将来構想の明確化が望まれるので、対応方針について回答すること。(是正事項) 8

(是正事項) 医療科学研究科 柔道整復学健康ケア専攻 (M)

1. 専攻の名称に「柔道整復学」の専攻分野を掲げているが、教育課程上、「基礎医療分野」、「柔道整復学健康ケア分野」の科目区分のいずれにおいても必修科目の設定がなく、柔道整復学に関連しない科目のみを履修することで修了できる教育課程であると見受けられる。また、養成する人材像やディプロマ・ポリシーにおいても、必ずしも柔道整復学の領域に限られない記載内容となっていることから、専攻の名称にふさわしい卒業要件、履修方法及び学位名称に改めるか、専攻及び学位の名称を修正すること。

(対応)

審査意見を踏まえ、次のとおり申請内容を変更する。

(変更点)

①本専攻は東京柔道整復学科を基礎とする「柔道整復学」を主とする専攻である。運動器疾患に関する基礎的知識を含む柔道整復学を学んだ上で、高度専門職業人としての柔道整復師の育成と共に、運動処方（療法）の観点から健康管理（健康ケア）の教育研究を行う。したがって、専攻名称は「柔道整復学健康ケア」としている。そのために学位名称を「修士（柔道整復学健康ケア）」と修正する。

②ディプロマポリシー・アドミッションポリシーを、柔道整復学を主とする専攻である事が明確となるよう次のとおり修正する。

ディプロマポリシー

- 1) 研究姿勢を保ち、新たな課題解決に取り組み、常に最新の知識や技術を探求することができる。
- 2) 「健康づくり」を推進するために、柔道整復学における外傷の予防・改善に関する最新の知識を修得し、科学的根拠に基づいた論理が構築でき、それらに基づく最新での確かな介入が実践できる。
- 3) 柔道整復学を基として怪我を未然に防ぐ為の運動処方の観点から健康管理の手助け（健康ケア）ができる。

アドミッションポリシー

- 1) 柔道整復学の理論に基づく外傷の予防・改善、運動による健康ケアの増進など、臨床現場、スポーツ施設や地域の健康カルチャー室など地域の健康づくりに貢献できる人
- 2) 医療や地域の実践場面における問題発見能力、問題解決能力、論理性や表現力等の他、実践研究の計画、ディスカッション、プレゼンテーション等の能力を高め、高度専門職業人並びに実践研究者としての資質を高めるための能力をもった人
- 3) 高い倫理観と豊かな人間性をもった人

本専攻では、様々な課題について具体的な問題意識とそれを解決する意欲をもち、研究とその実践に積極的に取り組む姿勢と実行力を備える人材を受け入れる。

③本専攻は、運動器疾患に関する基礎的知識を含む柔道整復学を学んだ上で、高度専門職業人としての柔道整復師を育成すると共に、運動処方（療法）の観点から健康管理（健康ケア）の教育研究を行う。そのために、柔道整復学及び健康ケアの土台となる科目として「運動器外傷学特論」を必修科目とする。また、「設置の趣旨等を記載した書類」に以下のように明示した。

2) 柔道整復学健康ケア分野

なお、本専攻は、柔道整復学における外傷施術を科学する為に必要な医学知識と外傷発生要因理論を修得しそれらを熟知した上で、運動器による怪我を未然に防ぐ為、及び外傷発生後の運動処方の理論を修得することが必須であり、そのための科目である「運動器外傷学特論」を必修とした。

(新旧対照表) 設置の趣旨を記載した資料 (10～11ページ)

新	旧
3 研究科、専攻の名称及び学位の名称 研究科名 医療科学研究科 Graduate School of Medical Science 専攻名 柔道整復学健康ケア専攻 Master course of <u>Judo Therapy Health Care</u> 学位名 修士（柔道整復学健康ケア） Master of <u>Judo Therapy Health Care</u>	3 研究科、専攻の名称及び学位の名称 研究科名 医療科学研究科 Graduate School of Medical Science 専攻名 柔道整復学健康ケア専攻 Master course of Judo Therapy and Health Care 学位名 修士（健康科学） Master of Health Science

(新旧対照表) 設置の趣旨を記載した資料 (8～9 ページ)

新	旧
<p>(5) 養成する人材像 ディプロマポリシー 1) 研究姿勢を保ち、新たな課題解決に取り組み、常に最新の知識や技術を探求することができる。</p> <p>2) 「健康づくり」を推進するために、<u>柔道整復学における外傷の予防・改善に関する最新の知識を修得し、科学的根拠に基づいた論理が構築でき、それらに基づく最新での確かな介入が実践できる。</u></p> <p>3) <u>柔道整復学を基として怪我を未然に防ぐ為の運動処方の観点から健康管理の手助け(健康ケア)ができる。</u> ここで本専攻が養成する人材について具体的に説明する。 </p> <p>2) 広い視野に立って、幅広い領域(柔道整復学に加えて、<u>医学、医療、健康科学、運動科学等</u>)の高度な専門的実践能力を併せ持つ高度専門職者の育成 高度化し多様化している医学、医療の現状を踏まえ、専門職者が持つ知識や技術を必要としている人々に最新で安心、安全での確かな医療を提供することが求められている。そのために、常に探究心を持ち、<u>柔道整復学を基に運動を通じた健康ケアの増進や運動器外傷の予防・改善に対し、機能評価、機能改善、健康状況把握等の手法を遂行できる、及びそれらの科学的根拠に基づく理論構築ができる指導者になり得る人材を育成する。</u> <u>本専攻で展開する柔道整復学健康ケア分野には、柔道整復師の他、医療・運動療法等に深い知識を備えた医療系養成機関を卒業した者で、地域の健康づくりに関心を持ち、活躍を希望している者の入学を受け入れる。</u></p>	<p>(5) 養成する人材像 ディプロマポリシー 1) 研究姿勢を保ち、新たな課題解決に取り組み、常に最新の知識や技術を探求することができる。</p> <p>2) 「健康づくり」を推進するために、最新の知識を修得し、科学的根拠に基 づいた論理が構築でき、それらに基づく最新での確かな介入が実践できる。</p> <p>3) 運動器外傷の予防・改善、運動による健康ケアの増進などの観点から「健康づくり」支援への対策を理解し計画、評価及び分析ができる。 ここで本専攻が養成する人材について具体的に説明する。 </p> <p>2) 広い視野に立って、幅広い領域(医学、医療、運動科学、柔道整復学等)の高度な専門的実践能力を併せ持つ高度専門職者の育成 高度化し多様化している医学、医療の現状を踏まえ、専門職者が持つ知識や技術を必要としている人々に最新で安心、安全での確かな医療を提供することが求められている。そのために、常に探究心を持ち、運動を通じた健康ケアの増進や運動器外傷の予防・改善に対し、機能評価、機能改善、健康状況把握等の手法を遂行できる、及びそれらの科学的根拠に基づく理論構築ができる指導者になり得る人材を育成する。 本専攻で展開する柔道整復学健康ケア分野には、医師、歯科医師、柔道整復師、看護師、鍼灸師、理学療法士や社会福祉士など医療専門資格を有する者のほかに、健康運動指導士、健康運動実践指導者、スポーツプログラマーやジュニアスポーツ指導員など運動(スポーツ)等関連資格を有し、地域の健康づくりに関心を持ち、活躍を希望している者の入学を受け入れる。</p>

(新旧対照表) 設置の趣旨を記載した資料 (20 ページ)

新	旧
<p>9 入学者選抜の概要 (1) アドミッションポリシー 本専攻で養成する人材像をふまえ、<u>柔道整復学に関する理論を基としてアドミッションポリシーを次のとおりとする。</u> アドミッションポリシー 1) <u>柔道整復学の理論に基づく外傷の予防・改善、運動による健康ケアの増進など、臨床現場、スポーツ施設や地域の健康カルチャー室など地域の健康づくりに貢献できる人</u></p> <p>2) 医療や地域の実践場面における問題発見能力、問題解決能力、論理性や表現力等の他、実践研究の計画、ディスカッション、プレゼンテーション等の能力を高め、高度専門職業人並びに実践研究者としての資質を高めるための能力をもった人</p> <p>3) 高い倫理観と豊かな人間性をもった人 本専攻では、様々な課題について具体的な問題意識とそれを解決する意欲をもち、研究とその実践に積極的に取り組む姿勢と実行力を備える人材を受け入れる。</p>	<p>9 入学者選抜の概要 (1) アドミッションポリシー 本専攻で養成する人材像をふまえ、アドミッションポリシーを次のとおりとする。 アドミッションポリシー 1) 外傷の予防・改善、運動による健康ケアの増進など、臨床現場、スポーツ施設や地域の健康カルチャー室など地域の健康づくりに貢献しようという意欲をもった人</p> <p>2) 医療や地域の実践場面における問題発見能力、問題解決能力、論理性や表現力等の他、実践研究の計画、ディスカッション、プレゼンテーション等の能力を高め、高度専門職業人並びに実践研究者としての資質を高めたいという姿勢と熱意をもった人</p> <p>3) 高い倫理観と豊かな人間性をもった人 本専攻では、様々な課題について具体的な問題意識とそれを解決する意欲をもち、研究とその実践に積極的に取り組む姿勢と実行力を備える人材を受け入れる。</p>

(新旧対照表) 設置の趣旨を記載した資料 (12 ページ)

新	旧
<p>(2) 各科目区分の科目編成について 2) 柔道整復学健康ケア分野 <u>なお、本専攻は、柔道整復学における外傷施術を科学する為に必要な医学知識と外傷発生要因理論を修得しそれらを熟知した上で、運動器による怪我を未然に防ぐ為、及び外傷発生後の運動処方の理論を修得することが必須であり、そのため</u> <u>の科目である「運動器外傷学特論」を必修とした。</u></p>	<p>(2) 各科目区分の科目編成について 2) 柔道整復学健康ケア分野 (追加)</p>

2. 学生の受入れに関して、本専攻の教育課程を適切に履修できる能力をどのように測定するかについて疑義があることから、アドミッション・ポリシー及び入学者の選抜方法について、教育課程の内容も踏まえつつ適切に改めること。

(対応)

本専攻は、運動器疾患に関する基礎的知識を含む柔道整復学を学んだ上で、高度専門職業人としての柔道整復師を育成すると共に、運動処方(療法)の観点から健康管理(健康ケア)の教育研究を行う。そのために、学生の受入れに関しては、アドミッションポリシーを修正し、アドミッションポリシーに示す能力と意欲を持った学生を受け入れることとした。また、その能力と意欲を測るために、柔道整復学における主に運動器外傷に関する知識、身体運動に関する能力を試すための筆記試験を行う。また、面接試験はアドミッションポリシー2)、3)による内容を含め、医療や地域の実践現場における健康管理についての時事を例示し、問題発見能力や問題解決能力等を試験し、高度専門職業人並びに実践研究者としての能力をみる。これら試験と書類審査を含め、以下の入学試験・審査を行う。

柔道整復学における主に運動器外傷に関する知識、身体運動に関する能力を試すための筆記試験を行う。また、面接試験はアドミッションポリシー2)、3)による内容を含め、医療や地域の実践現場における健康管理についての時事を例示し、問題発見能力や問題解決能力等を試験し、高度専門職業人並びに実践研究者としての能力をみる。これら試験と書類審査を含め、以下の入学試験・審査を行う。

- A 筆記試験 柔道整復学における主に運動器外傷に関する知識、身体運動に関する能力を試すための筆記試験、「小論文」及び基本的な英語能力を試す試験を行う。
- B 面接試験 希望する研究内容や意欲、その他を面接にて聴取する。
- C 書類審査 出身大学の成績証明書、志望理由及び将来の研究に対する希望を記した志望理由書の審査を行う。

アドミッションポリシー

本専攻で養成する人材像をふまえ、柔道整復学に関する理論を基としてアドミッションポリシーを次のとおりとする。

アドミッションポリシー

- 1) 柔道整復学の理論に基づく外傷の予防・改善、運動による健康ケアの増進など、臨床現場、スポーツ施設や地域の健康カルチャー室など地域の健康づくりに貢献できる人
 - 2) 医療や地域の実践場面における問題発見能力、問題解決能力、論理性や表現力等の他、実践研究の計画、ディスカッション、プレゼンテーション等の能力を高め、高度専門職業人並びに実践研究者としての資質を高めるための能力をもった人
 - 3) 高い倫理観と豊かな人間性をもった人
- 本専攻では、様々な課題について具体的な問題意識とそれを解決する意欲をもち、研究とその実践に積極的に取り組む姿勢と実行力を備える人材を受け入れる。

(新旧対照表) 設置の趣旨を記載した資料(20ページ)

新	旧
<p>9 入学選抜の概要 (1) アドミッションポリシー 本専攻で養成する人材像をふまえ、<u>柔道整復学に関する理論を基としてアドミッションポリシーを次のとおりとする。</u> アドミッションポリシー 1) <u>柔道整復学の理論に基づく外傷の予防・改善、運動による健康ケアの増進など、臨床現場、スポーツ施設や地域の健康カルチャー室など地域の健康づくりに貢献できる人</u></p> <p>2) 医療や地域の実践場面における問題発見能力、問題解決能力、論理性や表現力等の他、実践研究の計画、ディスカッション、プレゼンテーション等の能力を高め、高度専門職業人並びに実践研究者としての資質を高めるための能力をもった人</p> <p>3) 高い倫理観と豊かな人間性をもった人 本専攻では、様々な課題について具体的な問題意識とそれを解決する意欲をもち、研究とその実践に積極的に取り組む姿勢と実行力を備える人材を受け入れる。</p>	<p>9 入学選抜の概要 (1) アドミッションポリシー 本専攻で養成する人材像をふまえ、アドミッションポリシーを次のとおりとする。 アドミッションポリシー 1) 外傷の予防・改善、運動による健康ケアの増進など、臨床現場、スポーツ施設や地域の健康カルチャー室など地域の健康づくりに貢献しようという意欲をもった人</p> <p>2) 医療や地域の実践場面における問題発見能力、問題解決能力、論理性や表現力等の他、実践研究の計画、ディスカッション、プレゼンテーション等の能力を高め、高度専門職業人並びに実践研究者としての資質を高めたいという姿勢と熱意をもった人</p> <p>3) 高い倫理観と豊かな人間性をもった人 本専攻では、様々な課題について具体的な問題意識とそれを解決する意欲をもち、研究とその実践に積極的に取り組む姿勢と実行力を備える人材を受け入れる。</p>

新	旧
<p>(2) 入学者選抜概要 3) 入学試験 選抜方法：柔道整復学における主に運動器外傷に関する知識、身体運動に関する能力を試すための筆記試験を行う。また、面接試験はアドミッションポリシー2)、3) による内容を含め、医療や地域の実践現場における健康管理についての時事を例示し、問題発見能力や問題解決能力等を試験し、高度専門職業人並びに実践研究者としての能力をみる。これら試験と書類審査を含め、以下の入学試験・審査を行う。</p> <p>A筆記試験 柔道整復学における主に運動器外傷に関する知識、身体運動に関する能力を試すための筆記試験、「小論文」及び基本的な英語能力を試す試験を行う。 B面接試験 希望する研究内容や意欲、その他を面接にて聴取する。 C書類審査 出身大学の成績証明書、志望理由及び将来の研究に対する希望を記した志望理由書の審査を行う。</p>	<p>(2) 入学者選抜概要 3) 入学試験 選抜方法： A筆記試験 「小論文」及び基本的な英語能力を試す試験を行う。 B面接試験 希望する研究内容や意欲、その他を面接にて聴取する。 C書類審査 出身大学の成績証明書、志望理由及び将来の研究に対する希望を記した志望理由書の審査を行う。</p>

(是正事項) 医療科学研究科 柔道整復学健康ケア専攻 (M)

3. 定員充足の根拠として、進学に関するアンケート調査の結果における一定程度の進学の意向があることが示されているが、当該アンケートについては、柔道整復師養成課程の在学学生及び現職の柔道整復師のみが調査対象とされており、本専攻が入学を受け入れることとして想定している対象の一部にとどまり、設置の趣旨及び必要性における説明と整合していないことから、どのような学生を受け入れる見通しであるかについてあらためて明確に説明すること。

(対応)

審査意見を踏まえ、アドミッションポリシーを「柔道整復学を主とする専攻である」ことがより明示されるような表現に修正を行った。

本専攻は、あくまでも柔道整復学を主とした専攻である。原則的には、受け入れる学生は柔道整復学を学んだ学生及び現職の柔道整復師等を想定しているため、柔道整復師関係に限定したアンケート調査を実施した。

また、本専攻では柔道整復師をはじめとして、現場（臨床）で指導的立場になれる人材及び、運動処方（療法）を指導的な立場で行える人材を養成する。修了後の進路としては、接骨院等、介護関連施設、高等教育機関の教員等を想定している。

(新旧対照表) 設置の趣旨を記載した資料 (20ページ)

新	旧
<p>9 入学者選抜の概要 (1) アドミッションポリシー 本専攻で養成する人材像をふまえ、<u>柔道整復学に関する理論を基としてアドミッションポリシーを次のとおりとする。</u> アドミッションポリシー 1) <u>柔道整復学の理論に基づく外傷の予防・改善、運動による健康ケアの増進など、臨床現場、スポーツ施設や地域の健康カルチャー室など地域の健康づくりに貢献できる人</u> 2) <u>医療や地域の実践場面における問題発見能力、問題解決能力、論理性や表現力等の他、実践研究の計画、ディスカッション、プレゼンテーション等の能力を高め、高度専門職業人並びに実践研究者としての資質を高めるための能力をもった人</u> 3) <u>高い倫理観と豊かな人間性をもった人</u> 本専攻では、様々な課題について具体的な問題意識とそれを解決する意欲をもち、研究とその実践に積極的に取り組む姿勢と実行力を備える人材を受け入れる。</p>	<p>9 入学者選抜の概要 (1) アドミッションポリシー 本専攻で養成する人材像をふまえ、アドミッションポリシーを次のとおりとする。 アドミッションポリシー 1) 外傷の予防・改善、運動による健康ケアの増進など、臨床現場、スポーツ施設や地域の健康カルチャー室など地域の健康づくりに貢献しようという意欲をもった人 2) 医療や地域の実践場面における問題発見能力、問題解決能力、論理性や表現力等の他、実践研究の計画、ディスカッション、プレゼンテーション等の能力を高め、高度専門職業人並びに実践研究者としての資質を高めたいという姿勢と熱意をもった人 3) 高い倫理観と豊かな人間性をもった人 本専攻では、様々な課題について具体的な問題意識とそれを解決する意欲をもち、研究とその実践に積極的に取り組む姿勢と実行力を備える人材を受け入れる。</p>

4. 「現職の医療専門職者、その他関連職種者を含めた社会人に門戸を開放する教育機関を目指している」との記載がなされているが、授業の開始時間の設定が社会人を対象とするものとして適切であるか疑義があることから、社会人学生への支援体制や配慮の方策について具体的に示すこと。また、教員負担への配慮に関し、既設の学部教育及び管理運営業務等を含めた全体の負担量が不明であるため、専任教員ごとの負担量が分かる資料を示すこと。

(対応)

審査意見を踏まえ、平日の授業科目については18:00授業開始とし、6時限と7時限に授業を行うこととした(別紙1)。また学生の希望に応じ、授業開始時間等については柔軟に対応する予定であり、「設置の趣旨を記載した書類」に次のとおり追加及び修正をした。

(3) 授業の実施方法

すでに臨床現場に働いていてよりレベルアップを図りたいと考える社会人に対しては、学部教育時間との重複をしないように配慮し、授業時間は原則、月曜日から金曜日の18:00-19:30、19:40-21:10を設定し、土曜日は9:00-17:50までの時間帯に科目開講時間を合わせる【資料15:柔道整復学健康ケア専攻時間割】。また学生の希望に応じ、授業開始時間等については柔軟に対応する予定である。併せて夏季、冬季休業中における集中講義を柔軟に実施する。

また、教員の授業負担については、別紙2のとおりであり、大学院担当教員の負担を軽減するために「設置の趣旨を記載した書類」に次のとおり追加した。

(5) 教員の負担への配慮

本専攻の入学定員は3人であるが、一人の教員に研究指導学生が集中しないように適切に調整するとともに、学部の複数教員による授業科目や実習指導の軽減を図る等の措置により、大学院担当教員の負担が過重にならないように配慮する。また、基礎となる東京柔道整復学科の教員については、大学院担当教員との授業負担等に偏りが生じないように担当授業科目数の平準化を図る予定である。

(新旧対照表) 設置の趣旨を記載した資料 (22ページ)

新	旧
<p>10 大学院設置基準第2条の2による教育方法の実施</p> <p>(3) 授業の実施方法 すでに臨床現場に働いていてよりレベルアップを図りたいと考える社会人に対しては、学部教育時間との重複をしないように配慮し、授業時間は原則、月曜日から金曜日の18:00-19:30、19:40-21:10を設定し、土曜日は9:00-17:50までの時間帯に科目開講時間を合わせる【資料15:柔道整復学健康ケア専攻時間割】。また学生の希望に応じ、授業開始時間等については柔軟に対応する予定である。併せて夏季、冬季休業中における集中講義を柔軟に実施する。さらに.....</p>	<p>10 大学院設置基準第2条の2による教育方法の実施</p> <p>(3) 授業の実施方法 すでに臨床現場に働いていてよりレベルアップを図りたいと考える社会人に対しては、学部教育時間との重複をしないように配慮し、授業時間は原則、月曜日から金曜日の16:20-17:50、18:00-19:30、19:40-21:10を設定し、土曜日は9:00-17:50までの時間帯に科目開講時間を合わせる【資料15:柔道整復学健康ケア専攻時間割】。また夏季、冬季休業中における集中講義を柔軟に実施する。さらに.....</p>

(新旧対照表) 設置の趣旨を記載した資料 (22~23ページ)

新	旧
<p>10 大学院設置基準第2条の2による教育方法の実施</p> <p>(5) 教員の負担への配慮 本専攻の入学定員は3人であるが、一人の教員に研究指導学生が集中しないように適切に調整するとともに、学部の複数教員による授業科目や実習指導の軽減を図る等の措置により、大学院担当教員の負担が過重にならないように配慮する。また、基礎となる東京柔道整復学科の教員については、大学院担当教員との授業負担等に偏りが生じないように担当授業科目数の平準化を図る予定である。</p>	<p>10 大学院設置基準第2条の2による教育方法の実施</p> <p>(5) 教員の負担への配慮 本専攻の入学定員は3人であるが、一人の教員に研究指導学生が集中しないように適切に調整するとともに、学部の複数教員による授業科目や実習指導の軽減を図る等の措置により、大学院担当教員の負担が過重にならないように配慮する。</p>

5. 研究倫理審査体制について、学内者のみで構成されており、中立性の確保の観点から、適切に改めることが望まれる。

(対応)

研究倫理審査体制については、中立性の確保の観点から、委員会の構成メンバーは本学に所属しない者2名以上を含む学長が委嘱した者で構成することし、「設置の趣旨等を記載した書類」を次のとおり修正した。

(7) 研究の倫理審査体制

本学では、学術研究の信頼性と公正性を確保することを目的とし、研究を遂行する上で求められる研究者の行動・態度の倫理的規準を帝京科学大学研究倫理規準に定めている【資料12：帝京科学大学研究倫理規準】。また人を直接の対象とし、個人からその人の行動、環境、心身等に関する情報、データ等を収集・採取して行われる研究を遂行する上で求められる研究者の行動、態度の倫理的規準及び研究計画の審査に関する事項を「帝京科学大学「人を対象とする研究」倫理規準」で定めている【資料13：帝京科学大学「人を対象とする研究」倫理規準】。人を対象とする研究に規定する研究計画等の審査をするため、倫理審査委員会を設置し、委員会の構成メンバーは本学に所属しない者2名以上を含む学長が委嘱した次の者で構成されている。

- (1) 医学、医療の専門家等、自然科学の有識者 若干名
- (2) 倫理学、法律学の専門家等、人文・社会科学の有識者 若干名
- (3) 研究対象者の観点も含めて一般の立場から意見を述べることのできる者 若干名

(新旧対照表) 設置の趣旨を記載した資料 (17～18ページ)

新	旧
<p>(7) 研究の倫理審査体制 本学では、学術研究の信頼性と公正性を確保することを目的とし、研究を遂行する上で求められる研究者の行動・態度の倫理的規準を帝京科学大学研究倫理規準に定めている【資料12：帝京科学大学研究倫理規準】。また人を直接の対象とし、個人からその人の行動、環境、心身等に関する情報、データ等を収集・採取して行われる研究を遂行する上で求められる研究者の行動、態度の倫理的規準及び研究計画の審査に関する事項を「帝京科学大学「人を対象とする研究」倫理規準」で定めている【資料13：帝京科学大学「人を対象とする研究」倫理規準】。人を対象とする研究に規定する研究計画等の審査をするため、倫理審査委員会を設置し、委員会の構成メンバーは本学に所属しない者2名以上を含む学長が委嘱した次の者で構成されている。</p> <p>(1) 医学、医療の専門家等、自然科学の有識者 若干名 (2) 倫理学、法律学の専門家等、人文・社会科学の有識者 若干名 (3) 研究対象者の観点も含めて一般の立場から意見を述べることのできる者 若干名</p>	<p>(7) 研究の倫理審査体制 本学では、学術研究の信頼性と公正性を確保することを目的とし、研究を遂行する上で求められる研究者の行動・態度の倫理的規準を帝京科学大学研究倫理規準に定めている【資料12：帝京科学大学研究倫理規準】。また人を直接の対象とし、個人からその人の行動、環境、心身等に関する情報、データ等を収集・採取して行われる研究を遂行する上で求められる研究者の行動、態度の倫理的規準及び研究計画の審査に関する事項を「帝京科学大学「人を対象とする研究」倫理規準」で定めている【資料13：帝京科学大学「人を対象とする研究」倫理規準】。帝京科学大学「人を対象とする研究」倫理規準第9条に規定する研究計画等の審査をするため、倫理審査委員会を設置し、委員会の構成メンバーは学長が委嘱した次の者で構成されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療科学部長 ・医学教育センター長 ・生命環境学部の教員2名 ・医療科学部の教員2名 ・「人を対象とする研究」に携わらない専任教員1名 ・総務課長

6. 教員の年齢構成が比較的高齢に偏っていることから、教育研究の継続性を踏まえ、今後の採用計画など教員組織編製の将来構想の明確化が望まれるので、対応方針について回答すること。

(対応)

審査意見を踏まえ、教員の年齢構成が比較的高齢に偏っていることから、60歳未満の教員を原則として採用する旨を「設置の趣旨等を記載した書類」に追記するとともに、定年退職者の採用計画を別紙3のとおり修正した。

5 教員組織の編成の考え方及び特色

.....
 教員の年齢構成に関しては、開設時で70歳代2名、60歳代4名、50歳代5名、40歳代1名で構成されており、本研究科専攻設置目的を達成する為に必要な高度の知識・技術、研究能力及び実務経験を有する教員である。また、本学既定の「学校法人帝京科学大学教職員定年規定第2条」【資料7：学校法人帝京科学大学教職員定年規程】により、完成年度をもって退職する教員は4名である。65歳を超える教員の任用は第1回の卒業生を輩出するまでであり、当該教員の退職後については、教育・研究指導に支障のないように同等の実績を有する教員を公募により採用する予定である。また、教員の年齢構成が比較的高齢に偏っていることから、60歳未満の教員を原則として採用する予定である【資料8：定年退職者の採用計画（専任教員）】。

(新旧対照表) 設置の趣旨を記載した資料 (13ページ)

新	旧
<p>5 教員組織の編成の考え方及び特色 教員の年齢構成に関しては、開設時で70歳代2名、60歳代4名、50歳代5名、40歳代1名で構成されており、本研究科専攻設置目的を達成する為に必要な高度の知識・技術、研究能力及び実務経験を有する教員である。また、本学既定の「学校法人帝京科学大学教職員定年規定第2条」【資料7：学校法人帝京科学大学教職員定年規程】により、完成年度をもって退職する教員は4名である。65歳を超える教員の任用は第1回の卒業生を輩出するまでであり、当該教員の退職後については、教育・研究指導に支障のないように同等の実績を有する教員を公募により採用する予定である。また、教員の年齢構成が比較的高齢に偏っていることから、60歳未満の教員を原則として採用する予定である【資料8：定年退職者の採用計画（専任教員）】。</p>	<p>5 教員組織の編成の考え方及び特色 教員の年齢構成に関しては、開設時で70歳代2名、60歳代4名、50歳代5名、40歳代1名で構成されており、本研究科専攻設置目的を達成する為に必要な高度の知識・技術、研究能力及び実務経験を有する教員である。また、本学既定の「学校法人帝京科学大学教職員定年規定第2条」【資料7：学校法人帝京科学大学教職員定年規程】により、完成年度をもって退職する教員は4名である。65歳を超える教員の任用は第1回の卒業生を輩出するまでであり、当該教員の退職後については、教育・研究指導に支障のないように同等の実績を有する教員を公募により採用する予定である【資料8：定年退職者の採用計画（専任教員）】。</p>

平成32年度 前期 授業時間割表 (医療科学研究科 柔道整復学健康ケア専攻 1・2年)

<前期> 千住キャンパス 医療科学研究科 柔道整復学健康ケア専攻 1年

時間	月曜日			火曜日			水曜日			木曜日			金曜日			土曜日		
	授業科目名	担当教員名	教室名	授業科目名	担当教員名	教室名	授業科目名	担当教員名	教室名	授業科目名	担当教員名	教室名	授業科目名	担当教員名	教室名	授業科目名	担当教員名	教室名
1時限																		
2時限																		
3時限																		
4時限																		
5時限																		
6時限	身体健康ケア特論	渡會 二神	共用ゼミ ナース1	臨床医療科学特論	山内	共用ゼミ ナース1	身体機能学特論	渡會	共用ゼミ ナース1	運動分析学特論	行田	共用ゼミ ナース1	健康科学特論	渡會	共用ゼミ ナース1			
7時限	運動器外傷学特論	市毛	共用ゼミ ナース1	応用実践整復医療学 特論	○登本	共用ゼミ ナース1	徒手療法学特論	○竹内	共用ゼミ ナース1	健康ケア医療科学特 論	久保田 大石	共用ゼミ ナース1						

<前期> 千住キャンパス 医療科学研究科 柔道整復学健康ケア専攻 2年

時間	月曜日			火曜日			水曜日			木曜日			金曜日			土曜日		
	授業科目名	担当教員名	教室名	授業科目名	担当教員名	教室名	授業科目名	担当教員名	教室名	授業科目名	担当教員名	教室名	授業科目名	担当教員名	教室名	授業科目名	担当教員名	教室名
1時限																		
2時限																		
3時限																		
4時限																		
5時限																		
6時限	身体健康ケア特論	渡會 二神	共用ゼミ ナース1	臨床医療科学特論	山内	共用ゼミ ナース1	身体機能学特論	渡會	共用ゼミ ナース1	運動分析学特論	行田	共用ゼミ ナース1	健康科学特論	渡會	共用ゼミ ナース1			
7時限	運動器外傷学特論	市毛	共用ゼミ ナース1	応用実践整復医療学 特論	○登本	共用ゼミ ナース1	徒手療法学特論	○竹内	共用ゼミ ナース1	健康ケア医療科学特 論	久保田 大石	共用ゼミ ナース1						

備考

- ①. [] の授業科目は必修科目です。
- ②. 担当教員の○印は、非常勤講師です。

時間	授業時間
1時限	09:00～10:30
2時限	10:40～12:10
3時限	13:00～14:30
4時限	14:40～16:10
5時限	16:20～17:50
6時限	18:00～19:30
7時限	19:40～21:10

平成32年度 後期 授業時間割表 (医療科学研究科 柔道整復学健康ケア専攻 1・2年)

<後期> 千住キャンパス 医療科学研究科 柔道整復学健康ケア専攻 1年

時限	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		土曜日	
	授業科目名	担当教員名	授業科目名	担当教員名	授業科目名	担当教員名	授業科目名	担当教員名	授業科目名	担当教員名	授業科目名	担当教員名
1時限												
2時限												
3時限												
4時限												
5時限												
6時限	身体構造学特論	杉山 高田	臨床医療科学演習	山内	応用実践整復医療学演習	市ヶ谷	運動分析学演習	行田	共用ゼミ ナー室2	共用ゼミ ナー室2		
7時限	身体健康ケア演習	渡會 二神	健康増進体力学特論	有賀	病因論特論	渡邊	健康ケア医療科学演習	久保田 大石	共用ゼミ ナー室2	共用ゼミ ナー室2		

<後期> 千住キャンパス 医療科学研究科 柔道整復学健康ケア専攻 2年

時限	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		土曜日	
	授業科目名	担当教員名	授業科目名	担当教員名	授業科目名	担当教員名	授業科目名	担当教員名	授業科目名	担当教員名	授業科目名	担当教員名
1時限												
2時限												
3時限												
4時限												
5時限												
6時限	身体構造学特論	杉山 高田	臨床医療科学演習	山内	応用実践整復医療学演習	市ヶ谷	運動分析学演習	行田	共用ゼミ ナー室2	共用ゼミ ナー室2		
7時限	身体健康ケア演習	渡會 二神	健康増進体力学特論	有賀	病因論特論	渡邊	健康ケア医療科学演習	久保田 大石	共用ゼミ ナー室2	共用ゼミ ナー室2		

備考

- ①. 色の授業科目は必修科目です。
- ②. 担当教員の○印は、非常勤講師です。

授業時間

時限	授業時間
1時限	09:00~10:30
2時限	10:40~12:10
3時限	13:00~14:30
4時限	14:40~16:10
5時限	16:20~17:50
6時限	18:00~19:30
7時限	19:40~21:10

No	所属学科	職位	教員氏名	学部/ 修士	学期	科目名称	曜日	時限	コマ数	授業区分				
1	医学教育センター	教授	渡會 公治	学部	前期	整形外科科学Ⅱ	月	1	1.00					
					前期	スポーツ医学概論	火	1	1.00					
					後期	整形外科科学Ⅰ	金	1	1.00					
					前期	身体健康ケア特論	月	6	0.33	オムニバス				
					前期	身体機能学特論	水	6	1.00					
					前期	柔道整復学健康ケア特別研究法Ⅰ	土	2	0.13	オムニバス				
				修士	後期	身体健康ケア演習	月	7	0.33	オムニバス				
					後期	健康科学特論	金	6	1.00					
					後期	柔道整復学健康ケア特別研究法Ⅱ	土	2	0.07	オムニバス				
					通年	特別研究Ⅰ	土	3	1.00					
					通年	特別研究Ⅱ	土	3	1.00					
					コマ数集計(学部・修士総計)									
				前期:5.47コマ 後期:4.40コマ										
				管理運営業務等										
				教授会…1回/月、学科会議…1回/月 (所属委員会等) なし										
2	医学教育センター	教授	久保田 俊一郎	学部	前期	国試対策授業	金	3	0.20	集中講義				
					後期	健康管理とスポーツ医学	水	3	1.00					
					後期	柔道整復学特別講座4	金	4	0.47	オムニバス				
					後期	総合柔道整復セラピー	金	3	0.33	オムニバス				
				修士	前期	健康ケア医療科学特論	木	7	0.60	オムニバス				
					前期	柔道整復学健康ケア特別研究法Ⅰ	土	2	0.13	オムニバス				
					後期	健康ケア医療科学演習	木	7	0.60	オムニバス				
					後期	柔道整復学健康ケア特別研究法Ⅱ	土	2	0.07	オムニバス				
					通年	特別研究Ⅰ	土	3	1.00					
					通年	特別研究Ⅱ	土	3	1.00					
				コマ数集計(学部・修士総計)										
				前期:2.93コマ 後期:4.47コマ										
				管理運営業務等										
				教授会…1回/月、学科会議…1回/月 (所属委員会等) なし										
				3	東京柔道整復学科	教授	杉山 渉	学部	前期	医学史	木	2	1.00	
前期	アドバンスセミナーⅠ	水	4						1.00					
前期	アドバンスセミナーⅡ	水	3						1.00					
前期	基礎整復学演習Ⅰ	月	1						0.20	オムニバス				
前期	柔道セラピー総合実習Ⅰ	水	1,2						0.40	オムニバス				
前期	柔道セラピー研究法	金	1						1.00					
前期	総合柔道整復セラピー	—	—						1.00	集中講義				
前期	卒業研究法	—	—						1.00	集中講義				
前期	公衆衛生学	月	1						1.00					
前期	衛生学	月	2						0.07	オムニバス				
前期	公衆衛生学	月	2						0.07	オムニバス				
後期	アドバンスセミナーⅠ	水	4						1.00					
後期	アドバンスセミナーⅡ	水	3						1.00					
後期	総合柔道整復セラピー	木	1						0.67	集中講義				
後期	柔道セラピー総合実習Ⅱ	水	1,2						0.40	オムニバス				
後期	卒業研究法	—	—						1.00	集中講義				
後期	衛生学	火	2						1.00					
後期	柔道整復学特別講座4	月	3						1.00					
修士	前期	柔道整復学健康ケア特別研究法Ⅰ	土					2	0.13	オムニバス				
	後期	身体構造学特論	月					6	0.40	オムニバス				
	後期	柔道整復学健康ケア特別研究法Ⅱ	土					2	0.27	オムニバス				
	通年	特別研究Ⅰ	土					3	1.00					
	通年	特別研究Ⅱ	土					3	1.00					
	コマ数集計(学部・修士総計)													
前期:9.87コマ 後期:8.73コマ														
管理運営業務等														
教授会…1回/月、部局長会…2回/月、学科会議…1回/月 (所属委員会等) 自己点検・評価委員会、研究推進委員会、個人情報保護委員会、入学試験委員会、教務・学生委員会、EMS環境安全委員会、就職戦略委員会														

No	所属学科	職位	教員氏名	学部/ 修士	学期	科目名称	曜日	時限	コマ数	授業区分				
4	医学教育センター	教授	山内 禎祐	学部	前期	一般臨床医学1	月	2	1.00					
					前期	画像診断学	月	1	0.53	オムニバス				
					前期	病態治療学3	月	3	1.00					
					前期	内科学基礎	火	1	1.00					
					前期	臨床医学1(内科系)	水	1	1.00					
					前期	国試対策講座	月,水	1,2	0.20	オムニバス				
					前期	臨床医学概論	集中	—	1.00	集中講義				
					後期	内科学臨床	月	4	1.00					
					後期	外科学2	月	2	1.00					
					後期	外科学	火	1	1.00					
					後期	病態治療学1	水	3	1.00					
					後期	画像診断学	水	1	0.53	オムニバス				
					後期	臨床検査・薬理学	水	1,2	0.13	オムニバス				
					修士	前期	臨床医療科学特論	火	6	1.00				
				後期		柔道整復学健康ケア特別研究法Ⅰ	土	2	1.00					
				後期		臨床医療科学演習	火	6	0.13	オムニバス				
				後期		柔道整復学健康ケア特別研究法Ⅱ	土	2	0.07	オムニバス				
				通年		特別研究Ⅰ	土	3	1.00					
				通年		特別研究Ⅱ	土	3	1.00					
				コマ数集計(学部・修士総計)										
				前期:9.73コマ 後期:6.87コマ										
				管理運営業務等										
				教授会…1回/月、学科会議…1回/月 (所属委員会等) 紀要編集委員会										
5	東京柔道整復学科	教授	有賀 雅史	学部	前期	アスレティックトレーナーの役割	月	1	1.00					
					前期	アスレティックリハビリテーションⅡ	月	4	1.00					
					前期	検査・測定と評価(実習含む)	火	2	1.00					
					前期	検査・測定と評価(実習含む)	火	3	1.00					
					前期	予防とコンディショニングⅠ(実習含む)	水	1	1.00					
					前期	予防とコンディショニングⅠ(実習含む)	水	2	1.00					
					前期	アドバンスセミナーⅠ	水	3	0.73	オムニバス				
					前期	アドバンスセミナーⅡ	水	4	0.73	オムニバス				
					前期	アスレティックリハビリテーションⅠ(実習含む)	木	3	1.00					
					前期	アスレティックリハビリテーションⅠ(実習含む)	木	4	1.00					
					前期	アスレティックトレーナー見学実習	—	—	1.00	集中講義				
					前期	アスレティックトレーナー現場実習Ⅱ	—	—	1.00	集中講義				
					後期	スポーツ医学(学校教育)	火	1	1.00					
					後期	予防とコンディショニングⅡ	火	5	1.00					
				後期	アスレティックトレーナー総合実習	火	4	1.00						
				後期	アドバンスセミナーⅠ	水	4	0.67	オムニバス					
				後期	アドバンスセミナーⅡ	水	3	0.67	オムニバス					
				後期	トレーニング科学演習	木	3	1.00						
				後期	アスレティックトレーナー現場実習Ⅲ	—	—	1.00						
				後期	アスレティックトレーナー現場実習Ⅰ	—	—	1.00						
				修士	後期	健康増進体力学特論	火	7	1.00					
					後期	柔道整復学健康ケア特別研究法Ⅱ	土	2	0.07	オムニバス				
					通年	特別研究Ⅰ	土	3	1.00					
通年	特別研究Ⅱ	土	3		1.00									
コマ数集計(学部・修士総計)														
前期:13.47コマ 後期:10.40コマ														
管理運営業務等														
教授会…1回/月、学科会議…1回/月 (所属委員会等) EMS環境安全委員会														

No	所属学科	職位	教員氏名	学部/ 修士	学期	科目名称	曜日	時限	コマ数	授業区分				
6	柔道整復学科	教授	渡邊 利明	学部	前期	解剖学Ⅰ (PT・OT)	月	1,2	2.00					
					前期	生理学Ⅰ (PT・OT)	月	4,5	1.00					
					前期	解剖学Ⅱ (PT・OT)	月	5	1.00					
					前期	生理学Ⅰ (JT)	火	5	1.00					
					前期	生理学Ⅱ (JT)	火	4	1.00					
					前期	公衆衛生学	水	4	1.00					
					前期	ヒトの解剖・生理	木	3	1.00					
					前期	フレッシュセミナーⅠ	木	1	0.67	オムニバス				
					前期	フレッシュセミナーⅡ	木	3	1.00					
					後期	生理学Ⅰ	月	4	1.00					
					後期	生理学Ⅰ	月	4	1.00					
					後期	フレッシュセミナーⅡ	月	1	0.67	オムニバス				
					後期	病理学	水	1	1.00					
					後期	公衆衛生学	木	4	1.00					
					後期	フレッシュセミナーⅠ	木	1	1.00					
					修士	前期	柔道整復学健康ケア特別研究法Ⅰ	土	2	0.20	オムニバス			
						後期	病因論特論	水	7	1.00				
				後期		柔道整復学健康ケア特別研究法Ⅱ	土	2	0.07	オムニバス				
				通年		特別研究Ⅰ	土	3	1.00					
				通年		特別研究Ⅱ	土	3	1.00					
				コマ数集計(学部・修士総計)										
				前期:11.87コマ 後期:8.73コマ										
				管理運営業務等										
教授会…1回/月、学科会議…1回/月 (所属委員会等) ファカルティ・ディベロップメント委員会、入学試験委員会、紀要編集委員会														
7	東京柔道整復学科	教授	市毛 雅之	学部	前期	基礎整復学Ⅱ	月	4	1.00					
					前期	基礎整復学演習Ⅰ	月	1	0.33	オムニバス				
					前期	柔道整復学実習Ⅰ	火	3	1.00					
					前期	柔道整復学実習Ⅰ	火	4	1.00					
					前期	後療法	火	2	1.00					
					前期	アドバンスセミナー4	水	3	0.87	オムニバス				
					前期	アドバンスセミナー3	水	4	0.87	オムニバス				
					前期	整復セラピー実習4	金	1	1.00					
					前期	整復セラピー実習4	金	2	1.00					
					前期	総合柔道整復セラピー	金	3	0.47	オムニバス				
					前期	卒業研究法	—	—	—	集中講義				
					前期	助言指導(3-4年)	—	—	—					
					後期	臨床整復学実習4	水	1	1.00					
					後期	臨床整復学実習4	水	2	1.00					
					後期	アドバンスセミナー4	水	3	0.87	オムニバス				
					後期	アドバンスセミナー3	水	4	0.87	オムニバス				
					後期	臨床整復学実習2	金	3	1.00					
				後期	臨床整復学実習2	金	4	1.00						
				後期	整復セラピー実習5	金	1	1.00						
				後期	整復セラピー実習5	金	2	1.00						
				後期	助言指導(3-4年)	—	—	—						
				後期	卒業研究法	—	—	—						
				修士	前期	運動器外傷学特論	月	7	1.00					
後期	運動器外傷学演習	金	6		1.00									
後期	柔道整復学健康ケア特別研究法Ⅱ	土	2		0.07	オムニバス								
通年	特別研究Ⅰ	土	3		1.00									
通年	特別研究Ⅱ	土	3		1.00									
コマ数集計(学部・修士総計)														
前期:11.53コマ 後期:10.80コマ														
管理運営業務等														
教授会…1回/月、学科会議…1回/月 (所属委員会等) ハラスメント防止委員会、教務・学生委員会														

No	所属学科	職位	教員氏名	学部/ 修士	学期	科目名称	曜日	時限	コマ数	授業区分				
8	東京柔道整復学科	教授	二神 弘子	学部	前期	基礎整復学演習Ⅰ	月	1	0.20	オムニバス				
					前期	東洋医学概論	火	2	1.00					
					前期	アロマセラピーⅠ	火	3	1.00					
					前期	アロマセラピーⅠ	火	4	1.00					
					前期	アロマセラピーⅠ	火	4	1.00					
					前期	アドバンスセミナーⅢ	水	4	1.00					
					前期	アドバンスセミナーⅣ	水	3	1.00					
					前期	卒研指導	—	—	—	—				
					前期	助言指導(3-4年)	—	—	—	—				
					前期	卒業研究法	—	—	2.00	集中講義				
					後期	柔道整復特別講座	月	2	1.00					
					後期	地域保健スポーツ医療概論と演習	月	3	1.00					
					後期	地域保健スポーツ医療概論と演習	月	4	1.00					
					後期	基礎整復学Ⅳ	火	3	1.00					
					後期	アロマセラピーⅡ	火	2	1.00					
					後期	アロマセラピーⅡ(医療福祉)	火	4	1.00					
					後期	アドバンスセミナーⅢ	水	4	1.00					
					後期	アドバンスセミナーⅣ	水	3	1.00					
				後期	助言指導(3-4年)	—	—	—	—					
				後期	卒研指導	—	—	—	—					
				後期	卒業研究法	—	—	2.00	集中講義					
				修士	前期	身体健康ケア特論	月	6	0.67	オムニバス				
					前期	柔道整復学健康ケア特別研究法Ⅰ	土	2	0.13	オムニバス				
					後期	身体健康ケア演習	月	7	0.67	オムニバス				
					後期	柔道整復学健康ケア特別研究法Ⅱ	土	2	0.07	オムニバス				
					通年	特別研究Ⅰ	土	3	1.00					
					通年	特別研究Ⅱ	土	3	1.00					
				コマ数集計(学部・修士総計)										
				前期:11.00コマ 後期:12.73コマ										
				管理運営業務等										
				教授会…1回/月、学科会議…1回/月 (所属委員会等) 自己点検・評価委員会(総括委員会、第二部会、第三部会)										
				9	医学教育センター	教授	高田 雄三	学部	前期	解剖学	月	2	1.00	
									前期	解剖学Ⅲ	火	1	1.00	
前期	柔道整復学特別講座3	火	2						1.00					
前期	機能構造学特論	水	5						1.00					
前期	解剖学Ⅰ	木	1						1.00					
前期	生体機能学Ⅰ	金	4						1.00					
修士	前期	生体機能学Ⅰ	金					5	1.00					
	後期	身体構造学特論	月					6	0.60	オムニバス				
	後期	柔道整復学健康ケア特別研究法Ⅱ	土					2	0.07	オムニバス				
	通年	特別研究Ⅰ	土					3	1.00					
	通年	特別研究Ⅱ	土					3	1.00					
	コマ数集計(学部・修士総計)													
前期:9.00コマ 後期:2.67コマ														
管理運営業務等														
教授会…1回/月、学科会議…1回/月 (所属委員会等) 人を対象とする研究に関する倫理審査委員会、ホームページ部会														
10	柔道整復学科	准教授	市ヶ谷 武生	学部	前期	整復セラピー実習Ⅴ	火	3	1.00					
					前期	整復セラピー実習Ⅴ	火	4	1.00					
					前期	臨床柔道整復学Ⅲ	火	5	1.00					
					前期	整復セラピー実習Ⅱ	木	1	1.00					
					前期	整復セラピー実習Ⅱ	木	2	1.00					
					前期	卒業研究法	木	4	1.00					
					前期	基礎柔道セラピーⅢ	金	1	1.00					
					後期	臨床整復技術実習Ⅲ	火	1	1.00					
					後期	臨床整復技術実習Ⅲ	火	2	1.00					
					後期	徒手療法	火	5	1.00					
					後期	臨床柔道整復学Ⅰ	火	3	1.00					
					後期	アドバンスセミナーⅠ	火	4	0.87	オムニバス				
				後期	卒業研究法	木	3	1.00						
				修士	後期	応用実践整復医療学演習	水	6	1.00					
					後期	柔道整復学健康ケア特別研究法Ⅱ	土	2	0.07	オムニバス				
					通年	特別研究Ⅰ	土	3	1.00					
					通年	特別研究Ⅱ	土	3	1.00					
					コマ数集計(学部・修士総計)									
前期:9.00コマ 後期:8.93コマ														
管理運営業務等														
教授会…1回/月、学科会議…1回/月 (所属委員会等) ハラスメント防止委員会、教務・学生委員会、図書館運営委員会、EMS環境安全委員会、EMS内部監査委員会														

No	所属学科	職位	教員氏名	学部/ 修士	学期	科目名称	曜日	時限	コマ数	授業区分				
11	東京柔道整復学科	准教授	大石 徹	学部	前期	検査・測定と評価(実習含む)	火	2	1.00					
					前期	検査・測定と評価(実習含む)	火	3	1.00					
					前期	予防とコンディショニングⅠ(実習含む)	水	1	1.00					
					前期	予防とコンディショニングⅠ(実習含む)	水	2	1.00					
					前期	アドバンスセミナーⅠ	水	3	0.67	オムニバス				
					前期	アドバンスセミナーⅡ	水	4	0.67	オムニバス				
					前期	アスレティックリハビリテーションⅠ(実習含む)	木	3	1.00					
					前期	アスレティックリハビリテーションⅠ(実習含む)	木	4	1.00					
					前期	アスレティックトレーナー見学実習	—	—	1.00	集中講義				
					前期	アスレティックトレーナー現場実習Ⅱ	—	—	1.00	集中講義				
					後期	予防とコンディショニングⅡ	火	5	1.00					
					後期	アスレティックトレーナー総合実習	火	4	1.00					
					後期	アドバンスセミナーⅠ	水	4	0.73	オムニバス				
					後期	アドバンスセミナーⅡ	水	3	0.73	オムニバス				
					後期	トレーニング科学演習	木	3	1.00					
					後期	トレーニング科学演習	木	4	1.00					
					後期	トレーニング科学演習	木	5	1.00					
					後期	救急医療	金	5	1.00					
					後期	アスレティックトレーナー現場実習Ⅲ	—	—	1.00					
					後期	アスレティックトレーナー現場実習Ⅰ	—	—	1.00					
				修士	前期	健康ケア医療科学特論	木	7	0.40	オムニバス				
					後期	健康ケア医療科学演習	木	7	0.40	オムニバス				
					後期	柔道整復学健康ケア特別研究法Ⅱ	土	2	0.07	オムニバス				
					通年	特別研究Ⅰ	土	3	1.00					
					通年	特別研究Ⅱ	土	3	1.00					
				コマ数集計(学部・修士総計)										
				前期:11.73コマ 後期:11.53コマ										
				管理運営業務等										
				教授会…1回/月、学科会議…1回/月 (所属委員会等) 高校訪問部会、ニューズレター部会、図書館運営委員会										
				12	東京柔道整復学科	准教授	行田 直人	学部	前期	臨床整復技術実習Ⅲ	火	1	1.00	
									前期	臨床整復技術実習Ⅲ	火	2	1.00	
									前期	アドバンスセミナーⅠ	水	3	0.60	オムニバス
									前期	アドバンスセミナーⅡ	水	4	0.60	オムニバス
前期	リハビリテーションⅡ	水	2						0.80	オムニバス				
前期	基礎整復学Ⅴ	木	1						0.40	オムニバス				
前期	臨床整復学実習Ⅰ	金	3						1.00					
前期	臨床整復学実習Ⅰ	金	4						1.00					
前期	臨床柔道整復セラピー実習	—	—						0.33	集中講義 オムニバス				
前期	卒業研究法	—	—						1.00	集中講義				
後期	アドバンスセミナーⅠ	水	4						0.80	オムニバス				
後期	アドバンスセミナーⅡ	水	3						0.80	オムニバス				
後期	基礎整復技術実習Ⅱ	水	1						1.00					
後期	基礎整復技術実習Ⅱ	水	2						1.00					
後期	柔道セラピー総合実習Ⅱ	水	1						1.00					
後期	柔道セラピー総合実習Ⅱ	水	2						1.00					
後期	臨床整復学Ⅲ	木	2						1.00					
後期	リハビリテーションⅠ	木	1					0.80	オムニバス					
後期	卒業研究法	—	—					1.00	集中講義					
修士	前期	運動分析学特論	木					6	1.00					
	前期	柔道整復学健康ケア特別研究法Ⅰ	土					2	0.13	オムニバス				
	後期	運動分析学演習	木					6	1.00					
	後期	柔道整復学健康ケア特別研究法Ⅱ	土					2	0.07	オムニバス				
	通年	特別研究Ⅰ	土					3	1.00					
通年	特別研究Ⅱ	土	3					1.00						
コマ数集計(学部・修士総計)														
前期:10.87コマ 後期:11.47コマ														
管理運営業務等														
教授会…1回/月、学科会議…1回/月 (所属委員会等) 高校訪問部会、ニューズレター部会、図書館運営委員会														

番号	職位	氏名 ＜就任(予定)年月＞	退職時年齢	退職年月日	担当授業科目	採用計画
1	教授	渡會 公治 ＜平成32年4月＞		平成34年3月	身体機能学特論 健康科学特論 身体健康ケア特論 身体健康ケア演習 柔道整復学健康ケア特別研究法Ⅰ 柔道整復学健康ケア特別研究法Ⅱ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	【平成34年4月採用予定教員】 渡會教授の担当授業科目を講義し、 研究指導のできるマル合の資格のあり、60歳未満の 准教授以上の教員を原則として公募により採用する 予定である。
2	教授	久保田 俊一郎 ＜平成32年4月＞		平成34年3月	健康ケア医療科学特論 健康ケア医療科学演習 柔道整復学健康ケア特別研究法Ⅰ 柔道整復学健康ケア特別研究法Ⅱ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	【平成34年4月採用予定教員】 久保田教授の担当授業科目を講義し、 研究指導のできるマル合の資格のあり、60歳未満の 准教授以上の教員を原則として公募により採用する 予定である。
3	教授	杉山 渉 ＜平成32年4月＞		平成34年3月	身体構造学特論 柔道整復学健康ケア特別研究法Ⅰ 柔道整復学健康ケア学特別研究法Ⅱ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	【平成34年4月採用予定教員】 杉山教授の担当授業科目を講義し、 研究指導のできるマル合の資格のあり、60歳未満の 准教授以上の教員を原則として公募により採用する 予定である。
4	教授	山内 禎祐 ＜平成32年4月＞		平成34年3月	臨床医療科学特論 臨床医療科学演習 柔道整復学健康ケア学特別研究法Ⅰ 柔道整復学健康ケア学特別研究法Ⅱ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	【平成34年4月採用予定教員】 山内教授の担当授業科目を講義し、 研究指導のできるマル合の資格のあり、60歳未満の 准教授以上の教員を原則として公募により採用する 予定である。